

福祉サービス事業 フリーダム創生

就労継続支援B型（工房ナザレ）2021年事業計画書

従業員数

管理者（兼務） 1名 サービス管理責任者 1名

職業指導員 2名 生活支援員 2名（うち パート 1名）

利用者数（定員 35名）

実利用者 知的障害者 20名 精神障害者 5名 合計 25名

（知的障害者のうち 身体障害との重複 4名・視覚障害との重複 2名）

【運営目標】

利用者が自立した日常生活、又は社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練、その他の便宜を適切かつ効果的に行います。

また、地域との結び付きを重視し、利用者の所在する市町村や他の障害福祉サービス事業者、相談支援事業者、障害者支援施設等、及び保健医療サービス等を提供する者との密接な連携に努めます。

障害福祉サービスの事業などの人員、設備及び運営に関する基準に定める内容の他、その他の関係法令等を遵守し、事業を実施するものとします。（運営規定より）

- 1、利用者の個人の障害を含めて個性を認め合い、大人として接します。
- 2、感染防止対策に適した環境を整え、作業や販売を提供し個人個人の意識や技術の向上に努めます。
販路拡大等で売り上げを伸ばし、賃金アップに繋げ就労意欲を育てます。
- 3、身体的、心理的、性的、経済的虐待、ネグレクトを防ぎ、適切な支援を行います。

【サービス（支援）内容】

個人のアセスメントにより個別支援計画の作成を行います。その計画に沿った支援ができているかモニタリング後、スタッフでサービス担当者会議を行い、その内容を共有し支援を行います。

支援の内容としましては、個人の希望する作業を取り入れながら技術や能力向上のための訓練として、パンやクッキーなどの生産活動を行います。紙漉きカレンダーのための絵画作成、内職や販売（施設販売、バザー、街頭販売など）で賃金アップに繋げていきます。

その他、生活相談、健康管理、必要な介護を含め、支援、助言を行います。

【支援効果と課題】

- 1、利用者個人の障害を含めて個性を認め合い、大人として接します。
効果：障害に関わらず大人として接し丁寧な言葉使いのやりとりでお互いを尊重する関係を築くことができます。
課題：慣れや関係が近くなることにより言葉使いが乱れることがあり大人としての対応が難しくなります。常に丁寧な言葉使いを意識することが必要。
- 2、感染防止対策に適した環境を整え、作業や販売を提供し個人個人の意識や技術の向上に繋げていきます。
効果：感染予防をしっかりと行い安心できる環境で、利用者が自ら希望した販売や作業を繰り返すことにより、技術の向上や仕事をやり遂げた達成感を持つことができます。
課題：事業所の活動では感染予防対策を行うが、家庭での協力、本人の意識が不可欠です。仕事の内容に寄っては希望して目標を立てた内容の達成が難しいことがあり自信喪失に繋がることもあり、スタッフの気付きとフォローが必要です。
- 3、販路拡大等で売り上げを伸ばし、利用者の賃金アップに繋げ就労意欲を育てます。
効果：少しでも給料があがることにより、良い生活を望めるため、働くことの意義を知ることができます。
課題：緊急事態宣言によって左右されることのない販売先や注文、納品先の確保が必要です。
- 3、身体的、心理的、性的、経済的虐待、ネグレクトを防ぎ、適切な支援を行います。
効果：虐待の防止により事業所を自分の居場所としてとらえていただくことにより、心身ともに安心して働くことができます。
課題：指導の行き過ぎにより虐待が発生する恐れがあり、対応に注意が必要です。個人によっては家庭環境を確認する必要がありますが、家族の受け入れが難しい場合があります地域や行政と問題を共有して関わるが必要になります。

新社屋にて広く清潔な製造室で生産活動を行っておりますが、コロナ禍の現在、緊急事態宣言により販売の自粛に伴いクッキーなど製菓作業の生産量が減っており、食品に特化した製菓室（2階）ですが、作業スペースとして活用しております。

緊急事態宣言解除後は感染予防を徹底し通常の販売、バザーや定期販売に対応していきます。

また、安定した収入確保のために再度の緊急事態宣言等で販売が難しくなった時でも対応していただける販売先の確保や、注文、委託販売等の販路を拡大し、できる限り売り上げ向上に努め、利用者への還元に努めます。

地域との交流や新規利用者獲得につきましても、当事業所の感染予防対策の取り組みなどをアピールしながら、イベントや実習などの実施を行っていきます。